

News Release



BASF のプラスチック添加剤部門 酸化防止剤ビジネスの強化に向けて、アジアへの投資を拡大

2012年5月18日

- 酸化防止剤におけるグローバルリーダーシップポジションを保持
- アジアおよび中東での長期的な成長をサポート
- アジアでの生産体制を最適化

お問い合わせ:

BASF ジャパン株式会社
高機能製品統括本部
川野恵美子
TEL: 03-3796-4889
FAX: 03-3796-5929
emiko.kawano@basf.com

世界をリードする化学会社 BASF (本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン) は、プラスチック添加剤のグローバルリーダーとして、アジアにおける酸化防止剤の生産体制を強化するため、シンガポールのジュロン地区に最新鋭の酸化防止剤の生産ラインを新設いたします。

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ本部
麦谷英理子
TEL: 03-3796-4865
FAX: 03-3796-4111
eriko.mugitani@basf.com

今回の投資は、シンガポール拠点における酸化防止剤「Irganox® 1010 (イルガノックス 1010)」の生産を増強し、アジアおよび中東で拡大する酸化防止剤の需要に応えることを目的としています。シンガポール工場は、BASF のグローバル生産ネットワークの一拠点として、地理的に優れ、安定的に市場のニーズを満たすことが可能です。今回の投資によって、コスト、品質、供給の面で、効率的でより競争力のある製品を提供することが可能となります。

これに伴い、現在 BASF ジャパンの磯原工場(茨城県北茨城市)で行っている「Irganox® 1010」の生産は、新しい生産ラインの順調な稼働を条件として、2013 年末頃までにシンガポールに切り替えていく予定です。

BASF ジャパン株式会社
住所: 〒106-6121
東京都港区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー21 階
TEL: 03-3796-5111
FAX: 03-3796-4111
<http://www.japan.basf.com>

酸化防止剤は、ポリマーの加工段階において、長期的な熱安定性を製品に付与するために使用されます。BASF の酸化防止剤のグローバル生産ネットワークは、上海(中国)、磯原(日本)、ジュロン(シンガポール)、カイステン(スイス)、マッキントッシュ(米国)、ランパータイム(ドイツ)、ポンテッキオ マルコーニ(イタリア)の各拠点を構成されています。

■BASF のプラスチック添加剤事業について

BASF は、プラスチック業界向けに光安定剤、酸化防止剤、加工安定剤、難燃剤、樹脂改質剤、有機・無機顔料などの添加剤および顔料を製造し、サプライヤー、業界のイノベーションパートナーとして世界の市場をリードしています。詳細については、www.basf.com/plastic-additives をご覧ください。

■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は世界をリードする化学会社「The Chemical Company」です。製品ラインは、化学品、プラスチック製品、高機能製品、農業関連製品、石油・ガスと多岐にわたっています。BASF は、経済的な成功、社会的責任、そして環境保護を同時に実現しています。また、BASF は科学とイノベーションを通して現代社会や将来のニーズを提示しながら、あらゆる産業のお客様を支援しています。BASF の製品とシステムソリューションは、資源の確保に貢献し、健康的で栄養価の高い食品を提供するとともに、生活の質の向上に寄与しています。BASF はこれらの活動を企業目標として「私たちは持続可能な将来のために、化学でいい関係をつくります」を掲げています。2011 年の売上は約 735 億ユーロで、従業員数は約 11 万 1,000 人です。BASF の詳しい情報は、www.basf.com (英語)、newsroom.basf.com (英語)、www.japan.basf.com (日本語) をご覧ください。

BASF ジャパン株式会社
住所: 〒106-6121
東京都港区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー21 階
TEL: 03-3796-5111
FAX: 03-3796-4111
<http://www.japan.basf.com>